

私学助成署名推進ニュース

全国私立学校教職員組合連合
No.19 2016年11月8日(火)

主催者発表11,000名!? 神奈川私学のつどい 街に出て大成功

埼玉、茨城と日と同じくして神奈川でも「私学のつどい」が開催されました。昨年まで学校会場を含め屋内施設で開催されてきましたが、数年ぶりに屋外に出て、街行く人に私学をアピールする「つどい」となりました。



神奈川学園フォークソング部の演奏に聴き入る観衆

街に出て私学をアピールしよう!!

神奈川の私学のつどいは、ここ数年屋内開催が続きました。夏休みに東日本大震災被災地スタディーツアーを行い、そこでの支援体験と学んだことを高校生が発信する、また神奈川の戦争体験者のお話しを聴きディスカッションをするなど、私学の学びを発信する形をとっていました。

今年は、私学をもっと県民へアピールしようと実行委員会は判断。「みなとヨコハマ」のメインストリートみなとみらい地区の入口桜木町駅前に会場を構え「私学のつどい」を開催する事になりました。

神奈川学園フォークソング部、旭丘高校演劇部などのパフォーマンスに加え、教師バンドの演奏もあり、日曜のみなとみらい地区を通行する人々に私学をアピールすることになりました。奇しくも通行量調査が行われており、そのカウントによれば1万1,000人が「つどい」を観たという事になっています。

「私学のパワー」と議員も感動!!

この日「つどい」には田中和徳衆議院議員(自)、畑野君枝衆議院議員(共)、中村武人神奈川県議員(民)、木佐木忠晶神奈川県議員(共)の4議員が本人参加され、鈴木馨祐衆議院議員(自)笠浩史衆議院議員(民)の秘書が参加されました。田中議員は、オリジナル曲を演奏して歌った神奈川学園のフォークソング部の生徒に「君、上手いね」と声をかけていました。その歌に動かされたのか、ご挨拶の中で「私学のパワー」という表現で今回の「つどい」を評価されていました。

また国会議員12名(自民5、民進4、共産3)県議会議員13名(自民2、民進6、公明2、共産1、県政会1、神奈川ネット1)からメッセージも寄せられました。



田中衆議院議員

中村県議員

木佐木県議員

鈴木衆議院議員

新たな試みにいくつものドラマが...

数年ぶりに街に出た「つどい」。パフォーマンス参加は2学園+教員バンドでしたが、新たな取り組みだけにドラマも生まれました。教員バンドに2学園の高校生が飛び入り参加し、ギターを弾きドラムを叩き、私学の教員と生徒の関係を披露。

お子さんのパフォーマンスを観にこられた保護者の方が「何かお手伝いできることはありませんか?」と事務局へ名乗り出て、自ら私学助成署名の画板を掲げ桜木町駅頭で署名への協力を訴え、署名を集められました。

また高校生も署名で大活躍。旭丘高校の生徒の数名が演奏を背にして画板をもち、足を止めて演奏を聴いている人を見つけては声をかけて署名を集めていました。その内2人は街頭署名初経験。生徒だけで70筆は集めました。



旭丘高校演劇部パフォーマンス

「つどい」で生まれたつながりを力に

パフォーマンスの最後は旭丘高校生徒会がリードする合唱でした。この日はじめて出会った2学園の高校生。演奏終了後も最後まで残っていた神奈川学園フォークソング部に「いっしょに歌おう」の声が掛かると、「歌おう! 行こう!」とすぐさまステージへ。会場が一体となった瞬間でした。



2学園高校生による合唱



「私学のつどい宣言」を読み上げる3者代表

最後に「私学のつどい宣言」を高校生、父母、教職員の代表で読み上げて、神奈川私学のつどいは幕を閉じました。

閉会后、2学園の生徒がいっしょに写真撮影をしている姿がこの日のつどいを物語っていました。「神奈川私学助成をすすめる会」の事務所は、この桜木町にあります。実行委員会メンバーは、「われわれのホームグラウンドを聖地にしよう」とこれからの展望を語り合ったそうです。